

平成 26 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,845,371円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

●利用状況

		H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	5,772	5,573	6,228	5,900	6,612
	移動児童館利用者数	270	370	372	450	585
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	5	9	8	10	9
	開館日数(単位:日)	156	151	156	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人、(児童厚生員所長含め3人) ③毎月「おたより」を発行し、配布、公民館・コミセン・芥見南自治会へ広報誌の回覧、児童館ホームページ更新。 ④適切に対応し、防止策を確認。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。ワックス等の清掃業務を委託。 ③使用していない部屋の消灯、節電を実施。廃材の活用、あるものを利用(リユース) ④専門業者による野外遊具の点検。日常的に遊具の不具合や危険がないか確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練の実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成26年7月9日、17日に幼児クラブに参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。対象者21人(回収率72%)
利用者アンケートの実施結果	○児童センター運営について ・施設 満足8人、ほぼ満足10人、普通2人、やや不満1人、不満0人、無回答0人 ・クラブ 満足13人、ほぼ満足8人、普通0人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ・職員 満足18人、ほぼ満足3人、普通、0人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ○楽しかったプログラム、楽しなかったプログラム(複数回答可、上位3つまで記載) ・なかよしクラブ(楽しかった)夏祭り(終了会)12人、消防署見学10人、七夕かざりづくり9人(楽しなかった)動物園ごっこ1人 ・すくすくクラブ(楽しかった)夏祭り(終了会)9人、コーナー遊び9人、風船遊び8人 ○参加の幼児クラブ以外で、今後も参加してみたいもの⇒自由参加型幼児クラブ(ぴよぴよクラブ)7人、食育講座や子育て講演会3人、児童センターまつり(げんきまつり、フェスティバル)6人 ○クラブで感じたこと⇒4月からの活動がすごく楽しかったです。制作が好きなのでたくさんやりたいです。いろいろ細かく作ってもらって、子どもも楽しく喜んで毎回参加できました。とても楽しかったです。制作物も作りやすく準備していただいて楽しめました。どの内容も楽しく参加できました等
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・要望⇒回答 駐車場が近くなると嬉しいです⇒いつもご迷惑をおかけしております。市へは引き続き、皆様のご要望を伝えていきます。 おもちゃはたくさんあり嬉しいですが、新しいものも入ると嬉しいです。⇒いつもおもちゃを大切に使用していただきありがとうございます。おもちゃの購入については検討してまいります、こんなおもちゃがあると良いというご意見がありましたらお知らせください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価				A		
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A

安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<input type="checkbox"/> 昨年1回目の利用者アンケートに、幼児クラブについて、「夏休み中も少し活動を入れてほしい」と要望があったので、夏休み期間週1回程度、水あそびを計画実施した。思ったより参加者が少なく、0～1歳児ばかりだったが、0歳児の8月の利用者が1名から15名に増えた。 <input type="checkbox"/> グループホーム北山の訪問は、入居者の方にとっても喜ばれた。 <input type="checkbox"/> 地域の方に卓球を、左官業の方にピカピカどろだんごの作り方を、食育活動をしている団体におにぎりの作り方を教わった。子どもたちがいろいろな方と触れ合い、体験できた。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<input type="checkbox"/> 岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。 <input type="checkbox"/> 集団遊びを継続的に支援した結果、バドミントンや、カロムなどは子どもたちだけで遊べるようになった。
今後の取組み	<input type="checkbox"/> 自由参加幼児クラブの参加者減少と、登録制幼児クラブの参加者増加に利用者の声をききながら、改善していく。 <input type="checkbox"/> 岩校区、芥見校区への移動児童館の実施 <input type="checkbox"/> 利用者アンケートに改善希望として多く出てくる駐車場の場所については、センターに近いところに駐車場を確保していただくことを今後も市へお願いしていく。

●所管課の意見

<p>毎月「おたより」を発行・配布したほか、各公民館とコミュニティセンターへの配置、芥見東自治会、南自治会へ回覧している。また、ホームページを毎月更新するなど、広報活動を積極的に行っている。</p> <p>利用者アンケートの要望を採用し、夏休み期間中に乳幼児対象の水遊びを5回実施しており、8月の0歳児の利用者が増加している。</p> <p>新規事業として、食育団体による児童を対象とした「おにぎり作り」や左官業の団体による「ピカピカどろだんご作り」を開催し、好評を得ている。</p> <p>市民団体・母親クラブ・児童センターの三者が協力して食育講座を開催したり、グループホームで子どもたちと高齢者とのふれあい事業を行ったりするなど、地元の団体との連携・交流を図っている。</p> <p>職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>利用者アンケートの結果を分析し、さらなる満足度の向上に努めていただきたい。</p> <p>児童センターのある地区以外の学校とも連携を深めていただきたい。</p> <p>事業計画書どおりに適正に管理運営されており、良好と認められる。</p>
--